

効率化・低コスト化・地域交流で築く次世代農業 ～農事組合法人たてファーム・和（なごみ）（宮城県石巻市）～

経営体の概要

設立年度：平成27年
基幹作物：水稻、大豆、
野菜（キャベツ）
経営面積：34.5ha

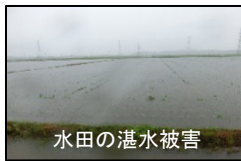


現在：令和7年
基幹作物：水稻、大豆、大麦
経営面積：91.8ha

土地改良事業による生産基盤（農地、農業水利施設等）の変化

【当初】

●前歴事業で造成された基幹的農業水利施設の老朽化により農業用水の安定供給に支障を来しているとともに、近年の降水量の変化に伴う排水量の増加による湛水被害が生じ、効率的な営農に支障が出ている。



水田の湛水被害



【現在】

●国営河南二期事業（H28～R11）により、老朽化した基幹的農業水利施設を改修することで、農業用水を安定供給するとともに、排水量の増加に対応した排水システムの再編により、湛水被害の軽減を図ることで農業生産の維持及び農業経営の安定に貢献している。

営農改善、経営転換等のポイント

①乾田直播による効率的な営農

土地改良事業による農業用水の安定供給と大区画化により経営規模を拡大、水稻の作付面積の半分以上で乾田直播を導入し、省力化と低コスト化を実現。FOEASとスマート農業を組み合わせ、安定収量や品質を確保するため、十余年の試行錯誤を経て栽培技術確立し、移植栽培と同等の収量を確保。県内外から視察を受け入れ、技術紹介や現地案内などにより地域貢献している。



乾田直播での播種作業

②大豆の高速畝立て播種機の導入による効率化

県内に2台しかない4条の高速畝立て播種機を導入し、通常の数倍以上の速度で播種が可能のため、作業時間を大幅に短縮。約50haの大豆ほ場で効率的に播種するため、3条播種機2台と併用し、梅雨時期の限られた時間内で、1日に約10haの播種が可能となり、生育の均一化、品質の向上や収量の安定化を実現している。



高速畝立て播種機による種蒔き

③地域貢献活動による地域農業の推進

地域住民と交流を深めるため、地元小学校を対象に地域農業をテーマに食育活動に協力している。児童と一緒に、学校の花壇への大豆播種、大豆収穫体験、豆腐づくりやドローン飛行の見学会などを通じて、収穫の喜び、食の大切さや農業の魅力を伝えるとともに、農業技術の普及と持続可能な地域づくりに寄与している。



地元小学校との豆腐づくり

事業概要

事業種：国営かんがい排水事業
関係市町：宮城県石巻市、東松島市、涌谷町、美里町
受益面積：4,707ha
事業期間：平成28年度～令和11年度
事業目的：揚排水機場の改修及び統廃合、排水システムの再編及び一部施設の耐震化
主要工事：揚水機場改修4箇所、排水機場（改修1箇所、新設2箇所）、用水路改修L=17.4km、排水路改修L=4.8km、水管理施設改修一式

位置図



河南二期地区

<問い合わせ先>

東北農政局
農村振興部農地整備課
競争力強化事業推進担当
電話：022-263-1111
内線（4460, 4201）

（令和7年度調査時点）